



就任挨拶

栃木県農政部

部長 廣川 貴之

本年度より、農政部長に就任しました廣川でございます。

会員の皆様には、日頃より本県の農業・農村の振興、とりわけ農業農村整備事業の推進につきまして、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、豚熱の発生時における迅速な防疫措置への御対応や、発生に備えた埋却地の事前調査など、多大なる御協力を賜り、重ねて感謝申し上げます。

さて、今日の農業・農村は、担い手の減少や高齢化の進行、自然災害の頻発・激甚化に加え、昨今の米の需給逼迫や価格高騰など、様々な課題を抱えております。このような中、国は、昨年6月に四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法を改正し、それに基づき、食料安全保障の強化等の実現に向けて、新たな「食料・農業・農村基本計画」の策定や「土地改良法」の改正を行ったところです。

本県におきましても、新たな課題等に的確に対応しながら、今年度最終年を迎える「とちぎ農業未来創生プラン」の総仕上げとして、「成長産業として持続的に発展する農業・栃木」の実現に向け、新規就農者の確保・育成やスマート農業の推進、園芸大国とちぎの実現などに取り組んでいるところです。

併せて、今年度は新たな農業振興計画（R 8～12）の策定の年であることから、担い手が確実に収益を確保でき、地域が元気に輝く農業・農村の実現を目指して、将来の担い手の確保・育成や農作業の効率化、生産性の向上等を盛り込んだ実効性の高い次期農業振興計画を策定し、次世代へとバトンをつなぐ施策を展開して参りたいと考えております。

これらの取組を着実に実践していくため、農業の礎である生産基盤の整備が重要であることから、本年3月に県内492地域で策定された「地域計画」の実現を目指した担い手への農地の集積を進めるとともに、スマート農業に対応した農地の大区画化や麦・大豆・露地野菜等の収量・品質を向上させる水田の汎用化などを積極的に推進して参ります。

また、安全・安心な農村づくりに向けて、農業水利施設の計画的な長寿命化対策や、防災重点農業用ため池の防災・減災対策に加え、田んぼダムの活用やため池の低水管理などによる雨水流出抑制対策に取り組み、農村が有する治水機能の向上による地域防災力の強化を図って参ります。

今後とも、建設業協会の皆様をはじめ、関係者と一丸となって、本県農業の輝く未来の創出にチャレンジして参りますので、一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会の皆様の御健勝と、御活躍を祈念申し上げ、新任の挨拶といたします。